読売新聞

教育新世紀

2000年4月17日

Try it! NIE

〈教育に新聞を〉

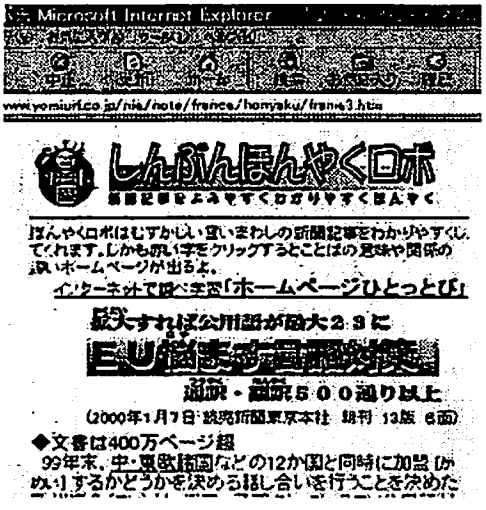
よみうり博士のアイデアノート

最新データで「調べ学習」

項目別にやさしい記事解説

読売新聞のホームページにある「よみうり博士のアイデアノート」は、小学五年の調べ学習にふさわしいテーマを設定、新聞記事をやさしく解説し、関連するホームページにもリンクしています。

最新作の「フランスのくらし」＝写真＝を見てみましょう。まず、「拡大で悩む欧州連合（EU）の公用語対策」という今年一月の記事で、EUの現状を知ります。次いで、記事に出てくる「欧州連合」「公用語」などのちょっと難しい言葉を「ぼんやくロボ」で確認。



さらに、関連するホームページで小学校の様子など関心のある分野を調べます。フランスの小学校には、飛び級も留年もあることが分かります。次いで「プロにきけ」。パリ特派員だった本紙記者が個人的な体験も織り込みながら、フランスの魅力や日本との違いを語っています。小説「チボー家の人々」を読んだことが新聞記者を志したきっかけだったなんて、社の同僚も知らなかった。

東京都港区神応小の阿部修子先生は、調べ学習でアイデアノートを活用しています。「図書館の資料が古いため、調べ学習で、十年以上も前の年鑑などを基にしていることがある。その点、アイデアノートのデータは新しいうえ、関連のホームページが絞り込まれていて利用しやすい」と、その利点を語っています。

アイデアノートでこれまでに取り上げたテーマは憲法、選挙、日本の歴史、工業と公害、ごみ問題、月と太陽、人と自然環境など社会科、理科を中心に約三十項目あり、毎月新しいテーマを追加しています。

インターネットを使っての調べ学習では、目的のページを探すのに時間がかかりがち。その悩みの解消を目指しています。

＊

「よみうり博士のアイデアノート」への接続は「http://www.yomiuri.co.jp/nie/note/」。（文化部ジュニア・プレス　佐藤　範明）